

シャボン玉石けん サステナビリティ中期計画



健康な体ときれいな水を守る。

シャボン玉石けん

2021年11月

サステナビリティ トップメッセージ

企業理念「健康な体ときれいな水を守る」を次の100年にもつなぎ、
関わる全てのみなさまに愛される企業を目指します



シャボン玉石けんは、1910年に雑貨商として創業し、1974年から「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念に基づき、無添加石けんの製造・販売を通じて、人々の健康や地球環境を守り、社会に貢献すべく努めてきました。

近年、社会は急速に変化し、地球環境問題は年々深刻になっていますが、私どもも消費財メーカーである以上、地球の資源やエネルギーを使い、廃棄物を出すことは避けられません。しかし、次世代に豊かな自然をつないでいくこと、人々の健康を守ることが私どもの企業理念であり、使命であると考えています。

シャボン玉石けんは、企業理念を経営の根幹とし、「3つの成長戦略」と「サステナビリティ中期計画」を推進することで、人々の健康と地球環境・生物多様性を守り、持続可能な社会に貢献する企業としてチャレンジし続けます。

シャボン玉石けんが目指すべき経営の方向性

企業理念

健康な体と
きれいな水を守る

好信楽

経営戦略

目指すべき
経営の方向性

3つのサステナビリティ
成長戦略 中期計画

サステナビリティ経営

《環境・衛生・健康・地域を守る企業》としての持続的発展・成長

ビジョン 目指す会社像

- ・ 技術の分野において世界一の石けんメーカーを目指す。
- ・ 石けんと合成洗剤の違いを一般常識レベルにまで広げる。
- ・ 石けんといえばシャボン玉というブランドを築く。

基本方針

1. 人と環境に優しい無添加石けんの普及によって、社会に貢献する。
2. 社会的責任を自覚し、企業及び地域活動の持続的発展に努める。
3. たゆまぬ努力と研究で、よりよい製品開発に努める。
4. やりがいと魅力に溢れる職場づくりを追求する。

虹色行動指針

1. 私たちは、シャボン玉のブランドに誇りを持ち、商品を愛用する一番のファンであることを誓います。
2. 私たちは、お客様に信頼される商品とサービスを提供し続けます。
3. 私たちは、環境問題と真摯に向き合い、使命感を持って無添加石けんの普及に努めます。
4. 私たちは、安全で働きやすい職場環境を整え、コンプライアンスを理解し、徹底します。
5. 私たちは、常に成長や進化を求めて、失敗を恐れず挑戦します。
6. 私たちは、全員が思いやりと当事者意識を持って、目標に向かい協力し合える組織を作ります。
7. 私たちは、関わる全ての方から愛され、「素晴らしい会社」と言ってもらえるよう行動します。

環境方針

我々は、健康な体ときれいな水を守るため、人と環境にやさしい商品づくりを通して、社会に貢献し地球環境の保全を図り、次の世代に住み良い地球と社会を残すよう努めます。

中期経営計画——3つの成長戦略

石けんの価値の深化・創造を主軸に据えた成長投資とそれを支える人財力の強化及び事業基盤の強化・拡充により、お客様のさらなる信頼を獲得することで、持続可能な経営・将来の収益拡大に寄与します。

企業理念

健康な体ときれいな水を守る

石けんの
価値の
深化・創造

3つの成長戦略

人財力の
強化

事業基盤
の
進化・強化

石けんの価値の深化・創造

- 無添加石けんが提供する「健康」「安全」「環境保全」といった既存価値の深化
- 基礎研究に基づく石けんの新たな価値の創造促進
- 石けんと合成洗剤の違い、香害・化学物質過敏症についての啓発活動

人財力の強化

- 最も大切な経営資源である人財の継続的な採用・雇用
- 誰もが効果的な教育を受けることができる教育インフラ等、教育環境の整備
- 役割や領域を超えて、チャレンジ・貢献できる環境づくり

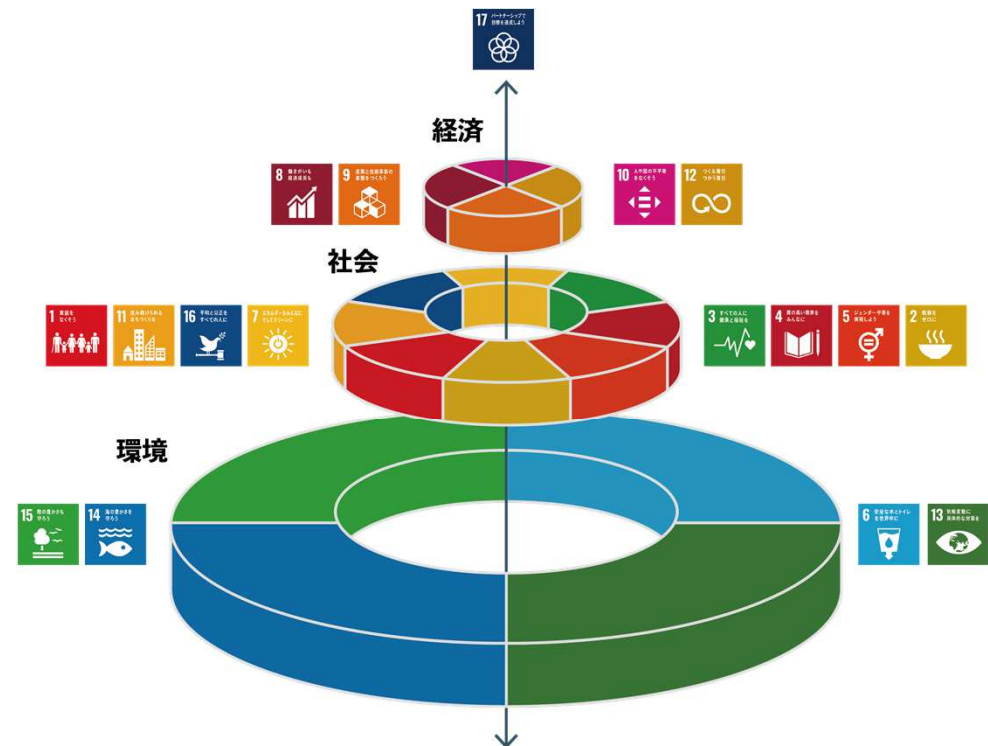
事業基盤の進化・強化

- 全社的デジタルインフラの構築による意思決定の精度・スピード向上
- スマートファクトリー化による生産性向上
- 伝統的な製法及び職人技の承継とデジタル化の融合による生産技術向上

「健康な体ときれいな水を守る」企業理念の実践こそがサステナビリティ

シャボン玉石けんは、「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念に基づき、1974年より無添加石けんの製造・販売を通じて、人々の健康や地球環境を守り、社会に貢献すべく努めてきました。

企業理念を経営の根幹とし、「サステナビリティ中期計画」と「3つの成長戦略」を推進することで、持続可能な社会への貢献と事業の持続的成長を目指します。



SDGs Wedding Cake Model
Illustration by Johan Rockström and Pavan Sukhdev (Stockholm Resilience Centre, Stockholm University)

SDGsの3層構造:持続可能な開発目標を達成するための「環境」「社会」「経済」の3つのバランスと関係をウェディングケーキにたとえて整理した模式図を指す。ストックホルム・レジリエンス・センター所長であるヨハン・ロックストローム氏が作成し、「ウェディングケーキモデル」とも呼ばれる。この図は、地球環境の基盤があることで、私たち人類社会、そして経済が成り立っているということ、これらを統合するのが17番のパートナーシップであり連携が重要だと説明している。

サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)特定プロセス

STEP 1 検討すべき社会課題の抽出

シャボン玉石けんの経営理念等を踏まえ、ISO26000等の国際的なガイドライン、持続可能な開発目標(SDGs)、これまでのCSR活動評価などから、シャボン玉石けんが事業活動を通じて解決すべき社会課題を幅広く抽出しました。

STEP 2 社会・事業への影響度の確認

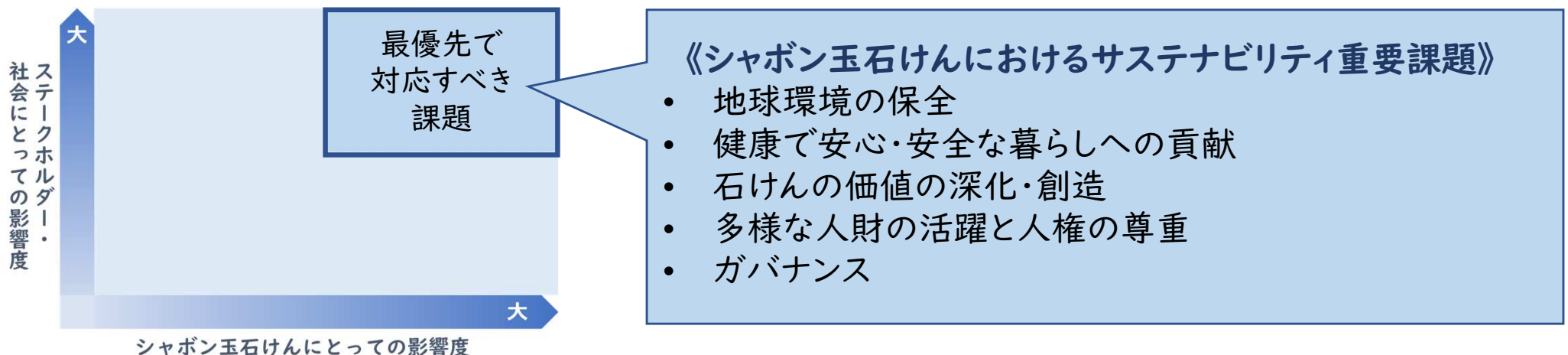
STEP1で抽出した社会課題を「ステークホルダー・社会にとっての影響度」と「シャボン玉石けんにとっての影響度」の2つの視点で総合的に評価し、その中でシャボン玉石けんにとって重要な社会課題として選定し、その課題の主管部門・担当部門は目標値を立案しました。

STEP 3 重要課題の審議・承認

STEP2で評価した重要な社会課題を取締役会で審議し、承認しました。また、各項目の目標値は、取締役会の意見を踏まえて適宜修正を行いました。取り組みの進捗や社会環境の変化等を踏まえて、定期的に見直していきます。

STEP 4 サステナビリティ重要課題の特定

上記のSTEP1~3のプロセスにより、5つのサステナビリティ重要課題を特定しました。定期的な評価を行うことで、継続的に見直します。



バリューチェーンへのインパクト






「シャボン玉石けんサステナビリティ中期計画」で定めた15の取り組みテーマは、製品のライフサイクルとバリューチェーンに関わりますが、特に大きなインパクトを与えると考えられるバリューチェーンを特定しました。

ポジティブインパクトの強化

ネガティブインパクトの最小化



サステナビリティ重要課題と2030年目標

	重要課題	取り組みテーマ	コミットメント	目標	貢献するSDGs
				2030年	
健康な体ときれいな水を守る	地球環境の保全	① 水資源・生物多様性の保全	環境にやさしい石けんを普及させることで、環境負荷低減に取り組み、水資源および生物多様性の保全に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ・無添加石けんの普及：浴用固形石けん市場におけるシャボン玉石けんのシェア5% ・無添加石けんの普及：洗濯用洗剤市場におけるシャボン玉石けんのシェア3% ・自治体やNPO法人等と協働した石けんの推進：モデルケースの構築、他自治体への展開 	
		② 気候変動・エネルギー問題への対応	事業所活動におけるエネルギーの再生エネルギー化を推進し、CO2排出量削減を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の再エネ電力化：100% ・事業所の再エネ電力化：100% ・モーダルシフト化の推進 ・自社工場から排出する廃棄物のリサイクルシステム構築 	
		③ 持続可能な原材料の調達	調達方針やガイドラインを策定し、バリューチェーン全体で人権や環境に配慮し、持続可能な調達を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・調達方針・調達ガイドラインに基づいた調達実施 ・原料や資材の調達先・調達方法における透明性の確立 	
	健康で安心・安全な暮らしへの貢献	④ お客様満足と信頼の追求	お客様に安心して使用していただける製品品質の徹底、お客様の声を真摯に受け止めた製品開発、お客様に寄り添った製品・サービスの提供を通じて、お客様満足度の向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが使いやすい製品包装形態・パッケージデザイン採用率：100%（自社ガイドラインに適合するもの） ・お客様の声を活かした製品開発・改良の継続 ・お客様満足度100%（お客様へのアンケート調査実施） 	
		⑤ 衛生・感染症対策	手洗いを中核とした衛生・感染症対策の普及を目指し、啓発活動ならびに研究に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗いの啓発：誰もが正しい手洗い方法を知っている社会にする ・感染症に対する石けんの有効性に関わる研究の継続 	
	石けんの価値の深化・創造	⑥ QOLの向上	石けんの良さや香害・化学物質過敏症が一般常識レベルになることを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・石けんと合成洗剤の違いを一般常識レベルになるよう啓発 ・工場見学や講演、勉強会などによる啓発活動の累積実施人数：10万人以上（2020年度以降） ・香害や化学物質過敏症が一般常識レベルになるよう啓発 ・人や環境に対する石けんの影響に関する研究発表の継続 	
		⑦ 石けんの学術的研究	石けんのもつ可能性を追求する基礎研究、新たな分野に対応した技術開発を通じて、社会に貢献する技術普及を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・石けんの新たな活用に関する研究の継続 ・災害時などにおける衛生対策用品の研究・開発の継続 	
		⑧ 石けんの技術を活かした国際貢献の推進	石けん系消火剤の普及により、CO2排出量削減、環境保全、健康被害の抑制など世界における課題解決を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・国内における石けん系消火剤の普及：100件以上の消防本部採用 ・海外における石けん系消火剤の普及：3カ国以上で事業化 	

	重要課題	取り組みテーマ	コミットメント	目標	貢献するSDGs	
				2030年		
健康な体ときれいな水を守る	多様な人財の活躍と人権の尊重	⑨	人権の尊重	全てのステークホルダーの人権を尊重し、人権侵害を許さない組織を目指す	・人権方針の運用・改善 ・重要な人権問題に対する人権デューデリジェンス実施率:100%	
		⑩	ダイバーシティの推進	誰もが活躍できる環境づくりを推進し、多様性を受容した組織を目指す	・女性役職者比率:40%以上 ・育児休暇取得後の復帰率:100%の維持 ・障がい者雇用率:3%以上 ・「多様な価値観を持った社員が活躍できている」と思う従業員の割合:100%(従業員へのアンケート調査実施)	
		⑪	従業員の健康増進	従業員の心身の健康増進に取り組み、持続的な企業成長を目指す	・労災件数:0件 ・有給休暇の取得率:100% ・健康診断受診率:100% ・歯科検診受診率:100% ・喫煙率:0%維持	
		⑫	働きやすい環境づくりの推進	誰もが安心して長く働くことのできる環境づくりを目指す	・従業員の満足度の高い新しい働き方制度の運用 ・長時間労働の削減(1ヵ月の残業時間10時間以下の維持) ・長期休暇の取得率:100% ・「働きやすい」と感じる従業員の割合:100%(従業員へのアンケート調査実施)	
		⑬	人財開発	従業員一人ひとりの個性や能力を最大限発揮できる環境づくりに取り組み、従業員満足度の向上ならびに持続可能な発展に貢献する人材の育成を目指す	・社内外における様々な教育プログラムの提供:活用100% ・従業員満足度の向上:前年度対比アップ(従業員へのアンケート調査実施) ・従業員エンゲージメントの向上(2021年度比、従業員へのアンケート調査実施)	
	ガバナンス	⑭	コンプライアンスの強化	法令や社会規範、社内規定、倫理などの遵守を徹底し、お客様や社会から信頼される企業を目指す	・重大なコンプライアンス違反:0件	
		⑮	リスクマネジメントの強化	リスクマネジメント体制を構築し、持続的な企業成長を目指す	・マニュアル・体制の定期的な見直し実施:年1回 ・情報セキュリティ(個人情報、社内情報等)方針の見直し:年1回 ・社会環境の変化に対応するBCPの運用:年1回の見直し	

シャボン玉石けんの価値創造モデル

シャボン玉石けんは「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念を揺るぎない経営の根幹としてきました。今後さらに「3つの成長戦略」と「サステナビリティ重要課題」への取り組み強化を相乗的に推進し、成長を加速させ、当社にしかできない商品・サービスの提供によりQOLの向上に貢献することを通じて、環境価値・社会価値・経済価値を創出します。そのことにより社会課題の解決にも尽力しながら、次の成長投資へと続けていくことで、さらなる企業価値の向上を目指していきます。

